

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善													
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数				
I-1-(1)- ⑥ 地域など と行政の 連携・協 働による 子育て支 援の推進	1	⑪	⑪	地域に役立つ公園 づくり事業	みどり・ 公園 整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	目標	20	公園	20	公園	20	公園	—	継続	102,400	77,000	減額	6,825	課長	0.05	人	順調	より幅広い世代のワークショップへの参加を促すため、子育てサークルやPTAを通じた周知活動を強化する。	順調	より幅広い世代のワークショップへの参加を促すため、子育てサークルやPTAを通じた周知活動を強化する。
								実績	23	公園				係長							0.10	人					
								達成率	115.0	%				職員							0.70	人					
I-3-(1)- ② 教育関係 施設の連 携による 人材育成	2	④	④	【施策評価のみ】 到津の森公園による 学習プログラ ムの提供	公園管 理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、 動物や自然とのふれあ いを通して命の大切さや 自然環境の保護の必要 性を学ぶプログラムの 提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高 め、環境保全に対す る意識が高まった状 態	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	課長	—	人	—	—	順調	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。		
								実績	—	—	—	—							係長	—						人	
								達成率	—	—	—	—							職員	—						人	
II-1-(4)- ④ 総合的な 災害対策 の推進	3	⑪	⑪	河川改修事業の推 進	水環 境課	近年、ゲリラ豪雨や都 市化の進展に起因する 浸水被害が増加してい る。浸水被害を抑制す るため、治水事業の根 幹となる河川改修を推 進する。	浸水被害の低減	目標	—	—	単年度目 標設定なし	河川毎に計 画している 降雨（1時 間で50～ 70mm程度） に対応でき る状態 (2033年 度)	—	拡大	1,551,588	2,499,700	増額	86,500	課長	1.00	人	順調	2018年7月豪雨により浸水被害が発生した箇所を中心に、治水能力の向上を図る。その他の河川についても、引き続き計画的な治水整備を推進する。				
								実績	—	—	—								係長	1.50				人			
								達成率	—	—	—								職員	8.00				人			
	4	⑪	⑪	且過地区まちづく りに伴う河川整備 事業	神嶽 川且 過地 区整 備室	長年市民に親しまれて いる且過市場の魅力向 上と、市場に隣接する 神嶽川の治水安全度の 向上のため、河川事業 と一体となった且過地 区の再整備を推進す る。	神嶽川（且過地区） の治水安全度向上	目標	—	—	単年度目 標設定なし	且過地区に おいて概ね 50年に一度 発生する降 雨にも対応 できる状態	—	継続	117,900	80,000	減額	30,750	課長	0.50	人	順調	且過地区の再整備について、早期かつ着実な事業実施のため、市施行による土地区画整理事業の事業化を目指すこととした。それに伴う検討課題を中心に、にぎわい機能強化等に必要調査、検討及び支援等を実施する。				
								実績	—	—	—								係長	1.00				人			
								達成率	—	—	—								職員	2.00				人			
	5	⑪	⑪	<新>豪雨災害から 市民を守る緊急 対策事業	水環 境課	2018年7月豪雨により 被害が発生した河川の 改修、河川情報システ ムの強化、護岸の長寿 命化を行い、市民が安 心・安心を感じるまち づくりを推進する。	浸水被害の低減	目標	—	—	単年度目 標設定なし	2018年豪 雨で被災し た河川の 治水対策が 完了してい る状態 (2023年 度)	—	—	—	520,000	—	44,000	課長	1.00	人	—	2018年7月豪雨により被害が発生した河川の改修、河川情報システムの強化、護岸の長寿命化を行う。				
								実績	—	—	—								係長	1.00				人			
								達成率	—	—	—								職員	3.00				人			
	6	⑪	⑪	災害関連地域防災 がけ崩れ対策事業	水環 境課	2018年7月豪雨に伴 い発生した自然がけの 崩壊箇所において、が け崩れ防止対策工事を 行い、二次災害を防止 することで人命を保護 し、市民生活の安定を 図る。	対象箇所の再度災害 防止	目標	—	—	—	再度災害 を防止す ること により、 人命保護 と市民生 活の安定 を確保で きる状態	—	—	—	220,000	—	74,000	課長	1.00	人	—	2018年7月豪雨の激甚災害指定に伴い、昨年度より補正予算を活用し、がけ崩れ防止対策を実施している。今年度も引き続き、再度災害を防止するための対策工事を実施する。				
								実績	—	—	—								係長	1.00				人			
								達成率	—	—	—								職員	7.00				人			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善												
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs サブ 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)					
						指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職 位					人 数				
II-2-(3)- ④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	7	③	⑪	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課  公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。 継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。 また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施する。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	目標	2	公園	1	公園	1	公園	—	継続	17,000	12,000	減額	3,650	課長	0.10	人	順調	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。	順調	今後も継続して高齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。
							実績	2	公園				累計30公園(2023年度)							係長	0.10	人				
							達成率	100.0	%											職員	0.20	人				
III-1-(1)- ③ まち美化活動の拡充	8	⑪	⑪	ボランティアネットワークの推進(道路サポーター)	道路計画課  市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数  ※中期目標改訂	目標	218	団体	220	団体	230	団体	—	継続	16,297	17,029	維持	9,400	課長	0.05	人	順調	団体数は順調に増加しており、引き続き団体数の増加に努める。  【中期目標の変更内容】 中期目標を220団体にしていたが、すでに中期目標を達成したため、230団体に変更	順調	今後も既存団体の支援や団体数の増加に取り組む。
							実績	227	団体				230団体(2019年度)							係長	0.17	人				
							達成率	104.1	%											職員	0.95	人				
	9	⑪	⑪	ボランティアネットワークの推進(公園愛護会)	公園管理課  10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	目標	1,160	団体	1,160	団体	1,160	団体	—	継続	45,849	45,919	維持	18,135	課長	0.24	人	順調	今後とも公園愛護会の活動の支援を通じて公園の美化等を推進する。	順調	今後も既存団体の支援や団体数の増加に取り組む。
							実績	1,183	団体				1,160団体(毎年度)							係長	0.45	人				
							達成率	102.0	%											職員	1.45	人				
	10	⑪	⑪	ボランティアネットワークの推進(河川愛護団体)	水環境課  地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	目標	71	団体	72	団体	73	団体	—	継続	2,250	2,440	増額	440	課長	0.01	人	順調	河川愛護団体数は、近年増加傾向にあるため、引き続き、多くの市民に関心を持ってもらえるよう活動を推進する。	順調	今後も既存団体の支援や団体数の増加に取り組む。
							実績	64	団体				73団体(2019年度)							係長	0.01	人				
							達成率	90.1	%											職員	0.03	人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な ゴール 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位				
Ⅲ-1-(2)- ① 魅力ある 生活空間 づくり	11	⑪	⑪	「花やみどり」に よる彩りと潤いの あるまちづくり	緑政 課	都市景観の向上と潤い のある街づくりを目指 し、花壇（公共花壇）の 整備を行うと共に、市民 花壇やスポンサー花壇、 うえるっちゃ！花壇と いった、市民ボランティ アや企業・団体と一体と なって美しく快適なまち づくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (2015年 度)	目標 601 団体	610 団体	619 団体	628団体 (2020年 度)	継続	55,720	56,180	維持	23,150	課長 0.10 人	順調	今後も継続して市民との協働 や街かどの整備など、総合的な 緑化を推進する。	順調	今後も継続して、街角の花壇 整備や地域ニーズを反映した公園 整備など、魅力ある生活空間 づくりに取り組む。
	12	⑪	⑪	地域に役立つ公園 づくり事業	みどり・ 公園 整備 課	身近な公園の再整備に ついて、小学校区単位で 開催するワークショップ で地域住民の意見を聞き、 地域ニーズを反映した 公園整備を行うことで、 これまで以上に利用 される公園を目指す。 計画段階から地域住民 が参加することで公園へ の愛着を高め、地域活動 など公園利用の活性化に つなげる。計画策定後 は、翌年から概ね2カ年 で再整備を行う。	地域に役立つ公園づ くり事業による整備 公園数	—	目標 20 公園	20 公園	20 公園	—	継続	102,400	77,000	減額	6,825	課長 0.05 人				
Ⅲ-1-(3)- ② 安心して 通行できる 身近な 道路の 整備	13	⑪	⑪	バリアフリーのま ちづくり	道路 計画 課	高齢者や障害者など、 誰もが安全で快適に通行 できるよう、バリアフ リーのみちづくりを進め る。具体的には、歩道の 新設や拡幅、段差解消、 視覚障害者誘導用ブロッ クの設置などのバリアフ リー化を行う。	主要駅周辺地区の主 要経路の整備率	—	目標 91 %	95 %	95 %	95% (2019年 度)	継続	820,000	752,695	減額	26,150	課長 0.10 人	順調	本市の高齢化率は全国平均を 大きく上回るとともに、他の政 令市の中で最も高く、高齢化が 急速に進展している。 このような状況のもとバリア フリー化の推進は必要不可欠で あり、着実に取り組みを継続す る。	順調	今後も誰もが安全で快適に通 行できる環境の整備を推進す る。
	14	⑪	⑪	通学路の安全対策	道路 計画 課	登下校中の児童が交通 事故に巻き込まれず、安 全に安心して通学できる 環境を整えるため、教育 委員会や学校関係者、警 察と一体となって、さら なる通学路の安全対策を 推進する。	通学路の危険箇所 における対策完了箇所 数	—	目標 —	—	—	—	継続	963,500	926,195	維持	26,150	課長 0.10 人				

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs サブ 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職 位					人数
V-1-(2)- ① 都心の にぎわい づくり	15	⑪	⑪	小倉駅・黒崎駅前 の賑わいづくりの 推進	道路 計画 課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる歩行空間を創出	—	目標 —	—	—	—	継続	972,000	211,900	減額	61,500	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 4.00 人	順調	引き続き小倉都心部と黒崎副都心部における魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を計画的に進める。	順調	今後も都心のにぎわいづくりに資する事業を計画的に推進する。	
	16	⑪	⑪	旦過地区まちづくり に伴う河川整備 事業	神嶽 川旦 過地 区整 備室	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川（旦過地区） の治水安全度向上	—	目標 —	—	—	—	継続	117,900	80,000	減額	30,750	課長 0.50 人 係長 1.00 人 職員 2.00 人	順調	旦過地区の再整備について、早期かつ着実な事業実施のため、市施行による土地区画整理事業の事業化を目指すこととした。それに伴う検討課題を中心に、にぎわい機能強化等に必要調査、検討及び支援等を実施する。			
	17	⑪	⑪	<新>都市再生整備 計画（道路改 築）	道路 計画 課	道路拡幅工事を行うことで、慢性的な交通混雑の解消及び歩行者の安全な通行を確保し、都心へのアクセス向上を図る。	交通混雑の解消及び歩行者通行の安全確保	—	目標 —	—	—	—	—	—	18,000	—	15,375	課長 0.25 人 係長 0.50 人 職員 1.00 人	—	小倉都心部の交通混雑の解消及び歩行者の安全な通行を確保し、都心へのアクセス向上を図るため、道路拡幅工事を計画的に推進する。			
V-1-(2)- ② 文化・交 流、居住 機能を重 視した副 都心づく り	18	⑪	⑪	小倉駅・黒崎駅前 の賑わいづくりの 推進	道路 計画 課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通路 利用者数	4,500人/ 日 (2012年 度)	目標 —	6,500人/ 日	6,500人/ 日	6,500人/ 日	継続	972,000	211,900	減額	61,500	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 4.00 人	順調	引き続き小倉都心部と黒崎副都心部における魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を計画的に進める。	順調	引き続き小倉都心部と黒崎副都心部における魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を計画的に進める。	
V-2-(2)- ① 広域物流 ネット ワークの 強化	19	⑪	⑪	自動車専用道路 ネットワークの整 備	道路 計画 課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分 (2009年 度)	目標 —	—	—	—	継続	2,380,000	5,456,666	増額	69,000	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 5.00 人	順調	引き続き計画的に主要道路の整備を進める。	順調	今後も計画的に道路整備を推進する。	
	20	⑪	⑪	主要な道路の整備 (恒見朽網線な ど)	道路 計画 課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州 空港間の所要時間	36分 (2009年 度)	目標 —	—	—	—	継続	4,608,000	8,007,858	増額	217,250	課長 3.00 人 係長 6.50 人 職員 15.70 人	順調	引き続き計画的に主要道路の整備を進める。			
V-2-(2)- ② 市民の交 通利便性 の向上と 産業活動 の支援	21	⑪	⑪	自動車専用道路 ネットワークの整 備	道路 計画 課	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	朝ピーク時の響灘地区～東田地区間の所要時間	43分 (2009年 度)	目標 —	—	—	—	継続	2,380,000	5,456,666	増額	69,000	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 5.00 人	順調	引き続き計画的に主要道路の整備を進める。	順調	今後も計画的に、広域物流ネットワークの強化や市民の交通利便性の向上と産業活動の支援に資する道路整備を推進する。	
	22	⑪	⑪	主要な道路の整備 (恒見朽網線な ど)	道路 計画 課	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州 空港間の所要時間	36分 (2009年 度)	目標 —	—	—	—	継続	4,608,000	8,007,858	増額	217,250	課長 3.00 人 係長 6.50 人 職員 15.70 人	順調	引き続き計画的に主要道路の整備を進める。			

【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善																
施策番号・施策名	No.	SDGs 主な 番号	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安)			H29年度 (2017) 事業 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1 (2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)				
							指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職位					人数			
V-3-(1)- ② 都市基 盤・施設 の適正な 維持管理	23	⑪	⑪	橋梁・トンネル・ モノレールの長寿 命化への計画的な 取り組み	道路維 持課	市内には、約2,000の 橋梁と39本のトンネル、 総延長約9kmのモノレ ールがあり、高齢化・老朽 化が進行していることか ら、予防保全の観点での 長寿命化事業に取り組ん でいる。 事業の実施にあたって は、施設毎に個別施設計 画を策定し、5年に1回の 定期点検に基づく計画的 な維持管理を実施するこ とで、市民の安全・安心 を確保するとともに、 トータルコストの縮減や 予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿 命化修繕計画」(2010.3策 定、2017.3改定) ・「北九州市トンネル長 寿命化修繕計画」 (2013.2策定、2017.3改 定) ・「北九州モノレール長 寿命化計画」(2011.6策 定)	主要橋梁及びトン ネルの健全性向上によ る市民の安全・安心の 確保	目標	—	—	—	全主要橋 梁及びト ンネルの 健全性Ⅱ 以上 (2023年 度)	—	2,193,150	3,897,000	増額	157,525	課長	1.85	人	順調	今後とも計画的な劣化対策や 耐震対策を実施することによ り、長寿命化を推進する。	順調	今後とも橋梁・トンネル・モ ノレール等の都市基盤・施設に ついて、計画的な劣化・耐震対 策や長寿命化など実施し、適切 な維持管理を推進する。		
								実績	—	—	—							完了 (2021年 度)	係長						3.50	人
								達成率	—	—	—								職員						13.50	
24	⑪	⑪	<新>若戸大橋・ 若戸トンネル維持 管理事業	道路維 持課	若戸大橋と若戸トン ネルは、若松区と戸畑区と を結ぶ本市の重要な路線 である。 日常の道路巡回や、有 事発生時の緊急対応など 適切な維持管理を実施す ることにより、市民が安全 に安心して通行できる環 境を確保する。	若戸大橋と若戸ト ンネルの適切な維持管 理による、市民の安全 ・安心の確保	目標	—	—	—	安全な道 路環境の 確保	—	—	100,000	—	22,000	課長	0.50	人	—	「若戸大橋・若戸トンネル」 は、2018年12月1日から無料化さ れ、北九州市が維持管理を引き 継いだ。 「若戸大橋・若戸トンネル」 について、適切な維持管理を実 施することにより、市民が安全 に安心して通行できる環境を確 保するもの。	順調				
							実績	—	—	—							長寿命 化修繕計 画の策定 (2020年 度)	係長						0.50	人	
							達成率	—	—	—								職員						1.50		人
25	⑪	⑪	<新>若戸大橋・ 若戸トンネル長寿 命化事業	道路維 持課	若戸大橋は吊橋構造、 若戸トンネルは沈埋ト ンネル構造といった複雑な 構造を有している。 このような構造物に対 し、予防保全型の維持管 理を実施し、維持管理費 のトータルコストの縮減 と予算の平準化を図るた め、長寿命化修繕計画を 策定するとともに、長期 的視点に立った事業を推 進する。	維持管理費のトー タルコストの縮減や予 算の平準化および予 防保全型の維持管理	目標	—	—	—	長寿命 化修繕計 画の策定 (2020年 度)	—	—	250,000	—	22,000	課長	0.50	人	—	「若戸大橋・若戸トンネル」 は、2018年12月1日から無料化さ れ、北九州市が維持管理を引き 継いだ。 「若戸大橋・若戸トンネル」 の、長寿命化修繕計画を策定す るとともに、長期的視点に立っ た事業を推進するもの。	順調				
							実績	—	—	—							長寿命 化修繕計 画の策定 (2020年 度)	係長						0.50	人	
							達成率	—	—	—								職員						1.50		人
VI-1-(2)- ② あらゆる 主体による 環境政策 への参加 の推進	26	④	④	長野緑地を利用し た農業体験教室	公園管 理課	計画地内に複数の活動 エリアを設け、一年を通 してそれぞれのエリアで 有機農業栽培管理や花作 りを体験する市民参加に よる農地等の整備、管理 等に取り組む。また、子 どもたちが自然の中で遊 び、学ぶ場を提供したり、 収穫物を使用したイベ ントなど、市民の参加 を拡大するイベント等を 開催する。	農業体験教室への参 加者数	目標	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	継続	2,674	2,600	維持	1,120	課長	0.03	人	順調	今後とも継続して農業体験教室 を実施する。	順調	今後とも継続して農業体験教室 等を通じた、市民が自然と触れ 合う場や機会の提供を推進す る。		
								実績	2,260 人	—	—							2,000人 (毎年度)	係長						0.04	人
								達成率	113.0 %	—	—								職員						0.05	

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs 主要 番号	SDGs サブ 番号	基本計画の施策を構成する 主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	H30年度 (2018) 予算額 (千円)	R1年度 (2019) 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費（目安）			H29年度 (2017) 事業 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	H29年度 (2017) 局施策 評価	R1(2019)年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)			
						指標名等	現状値 (基準値)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)					中期 目標	金額 (千円)	職 位					人数		
VI-2-(1)- ③ 総合的な 緑化・森 林整備の 実施	27	⑪	⑪	緑政課	「花やみどり」に よる彩りと潤い のあるまちづくり	都市景観の向上と潤い のある街づくりを目指 し、花壇（公共花壇）の 整備を行うと共に、市民 花壇やスポンサー花壇、 うえるっちゃ！花壇と いった、市民ボランテ アや企業・団体と一体と なって美しく快適なまち づくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (2015年 度)	目標	601 団体	610 団体	619 団体	628団体 (2020年 度)	継続	55,720	56,180	維持	23,150	課長	0.10 人	順調	今後も継続して市民との協働 や街かどの整備など、総合的な 緑化を推進する。	順調	今後も継続して市民との協働 や街かどの整備など、総合的な 緑化を推進する。
									実績	571 団体									係長	0.70 人				
									達成率	95.0 %									職員	2.00 人				
VI-4-(1)- ③ 市民と自然との ふれあいの 推進	28	⑪	⑪	緑政課	「花やみどり」に よる彩りと潤い のあるまちづくり	都市景観の向上と潤い のある街づくりを目指 し、花壇（公共花壇）の 整備を行うと共に、市民 花壇やスポンサー花壇、 うえるっちゃ！花壇と いった、市民ボランテ アや企業・団体と一体と なって美しく快適なまち づくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (2015年 度)	目標	601 団体	610 団体	619 団体	628団体 (2020年 度)	継続	55,720	56,180	維持	23,150	課長	0.10 人	順調	今後も継続して市民との協働 や街かどの整備など、総合的な 緑化を推進する。	順調	今後も継続して街角の花壇整 備や農業体験教室など、市民が 自然と触れ合う場や機会の提供 を推進する。
									実績	571 団体									係長	0.70 人				
									達成率	95.0 %									職員	2.00 人				
29	④	④	公園管理課	長野緑地を利用し た農業体験教室	計画地内に複数の活動 エリアを設け、一年を通 してそれぞれのエリアで 有機農業栽培管理や花作 りを体験する市民参加に よる農地等の整備、管理 等に取り組む。また、子 どもたちが自然の中で遊 び、学ぶ場を提供した り、収穫物を使用したイ ベントなど、市民の参加 を拡大するイベント等を 開催する。	農業体験教室への参 加者数	—	目標	2,000 人	2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	継続	2,674	2,600	維持	1,120	課長	0.03 人	順調	今後も継続して農業体験教室 を実施する。	順調	整備促進に向けて沿線自治体 と協力して要望活動に取り組 む。	
								実績	2,260 人									係長	0.04 人					
								達成率	113.0 %									職員	0.05 人					
VII-3-(2)- ① 東九州地 域との連 携	30	⑪	⑪	道路計画課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促 進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の建 設促進	—	目標	—	—	—	東九州自 動車道の 建設促進	継続	—	—	—	—	課長	— 人	—	—	順調	整備促進に向けて沿線自治体 と協力して要望活動に取り組 む。	
								実績	—									係長	— 人					
								達成率	—									職員	— 人					